



資料5 - 6

FMCサービスに関わる番号の検討について

2005年8月4日
KDDI株式会社

FMCサービスは世界的にも注目されている

- 移動体サービスの普及とブロードバンドサービスの広がりを受けて固定網と移動体網を連携させたFMC (Fixed-Mobile Convergence) サービスが始まっている。
 - (例) 英BT “BT Fusion”、韓国KT “DU:”
 - 日本でも早期の導入が期待される。
- 方式および具体的なサービスについては、技術的な方式、移動体事業者/固定網事業者の組合せ、などにおいて様々なバリエーションが考えられる。
- 将来的には、All-IP / IMS網をベースとした融合網(NGN: Next-Generation Network)へつながることが想定される。

FMCサービスに関わる番号の検討

- 移動体事業においては来年度からMNPの実施、新規事業者の参入が見込まれており、競争環境が大きく変化すると予想される。こうした中でFMCサービスへの需要も急速に高まると考えられる。
- 番号はサービスの中で極めて重要なファクターであり、サービス条件およびシステム条件と密接に関わる。
- 報告書の第3章にも早期に検討することが適当との趣旨で記述がある。

弊社としては2007年度中頃を目標としています。ネットワークや端末機器の開発に最低1年半程度は見込む必要があるため、着手時期を考慮すると遅くとも今年度中に番号についての一定の整理をしていただきたいと思います。

よって、今回の番号研究会にて引き続きFMCについてご検討いただきたいと思いますと考えております。